

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	イナーシャ	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.530	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

4 インチ

番

研磨剤

比較対照ボール：ストライクマシン

フレアーの幅 インチ

表面加工

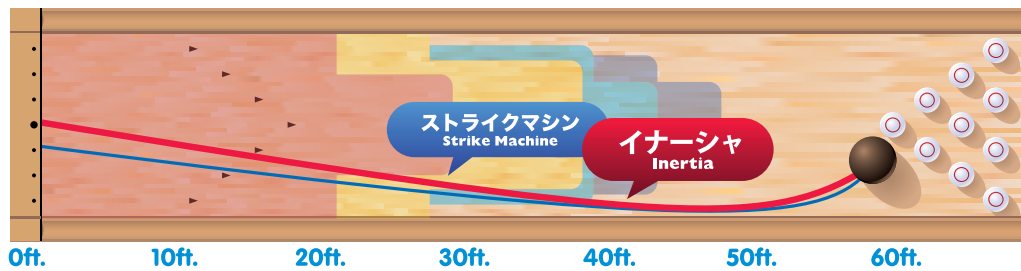
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

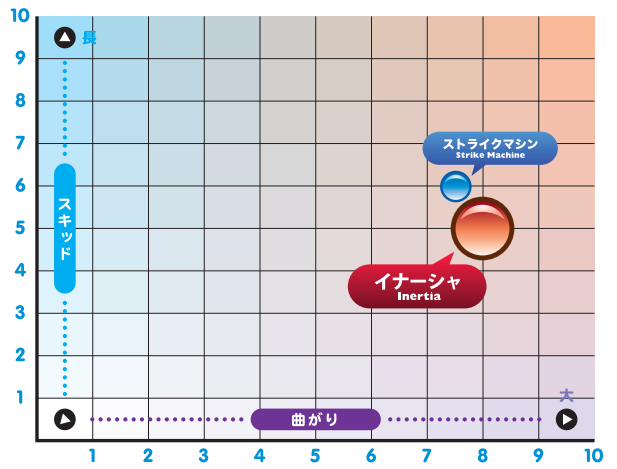
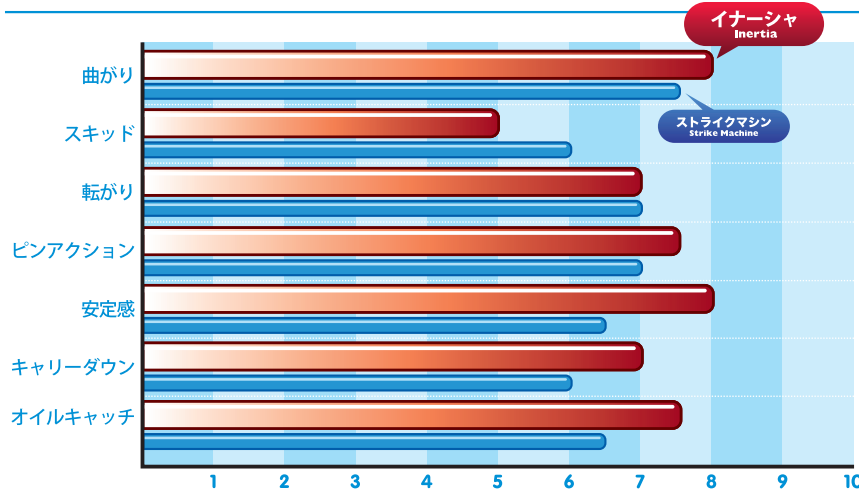
5 1/2 インチ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジス

Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

今回トラック社から発売されますこの「イナーシャ」は、デザインを一新させたマスバイアスコアと POWER PEAK PARTICLE という初上陸のカバーストックを採用しています。投球した感じは持続的なキャッチ感を伴う性能で、一新されたマスバイアスコアの性能と合間って、**ピンヒットまで終わらない柔らかい動きが特徴的です。私はすぐにこのボールを気に入りましたが、その理由はミッドエリアで軸移動と共に緩やかに起き上がり始め、ピンヒットまでの動き幅が非常に読みやすいボールだからです。**この POWER PEAK PARTICLE カバーストックの特徴か、オイルの濃淡をあまり感じさせない性能も気に入っています。私は大きく幅を取ってライン取りをしないので、どうしてもオイルと削れたラインの際を投球しなければなりません。そんな時にこの「イナーシャ」はピッタリです。**オイル上でも弾かれないし、ドライゾーンでの過激な反応は少ない。とすればそこに投球幅を感じる事が出来るからです。そしてマスバイアスコアを有効活用し、軸移動させることが出来ればタップも軽減できることでしょう。**以前同じトラック社で初代のフェノムアンリッシュドを気に入って使用していました。そのボールとリアクション性能は良く似ています。ピンアクションはやや柔らかめでも、低く後ろに飛んでくれるのもこのボールの気に入っているところです。派手なアクションより安定感とスコアメイクを求めている方には是非使用して頂きたいボールです。

特記事項

カバーストックとコア形状のバランスが良さが安定したポテンシャルを約束してくれます。トラック社テクノロジーが輝る逸品です。